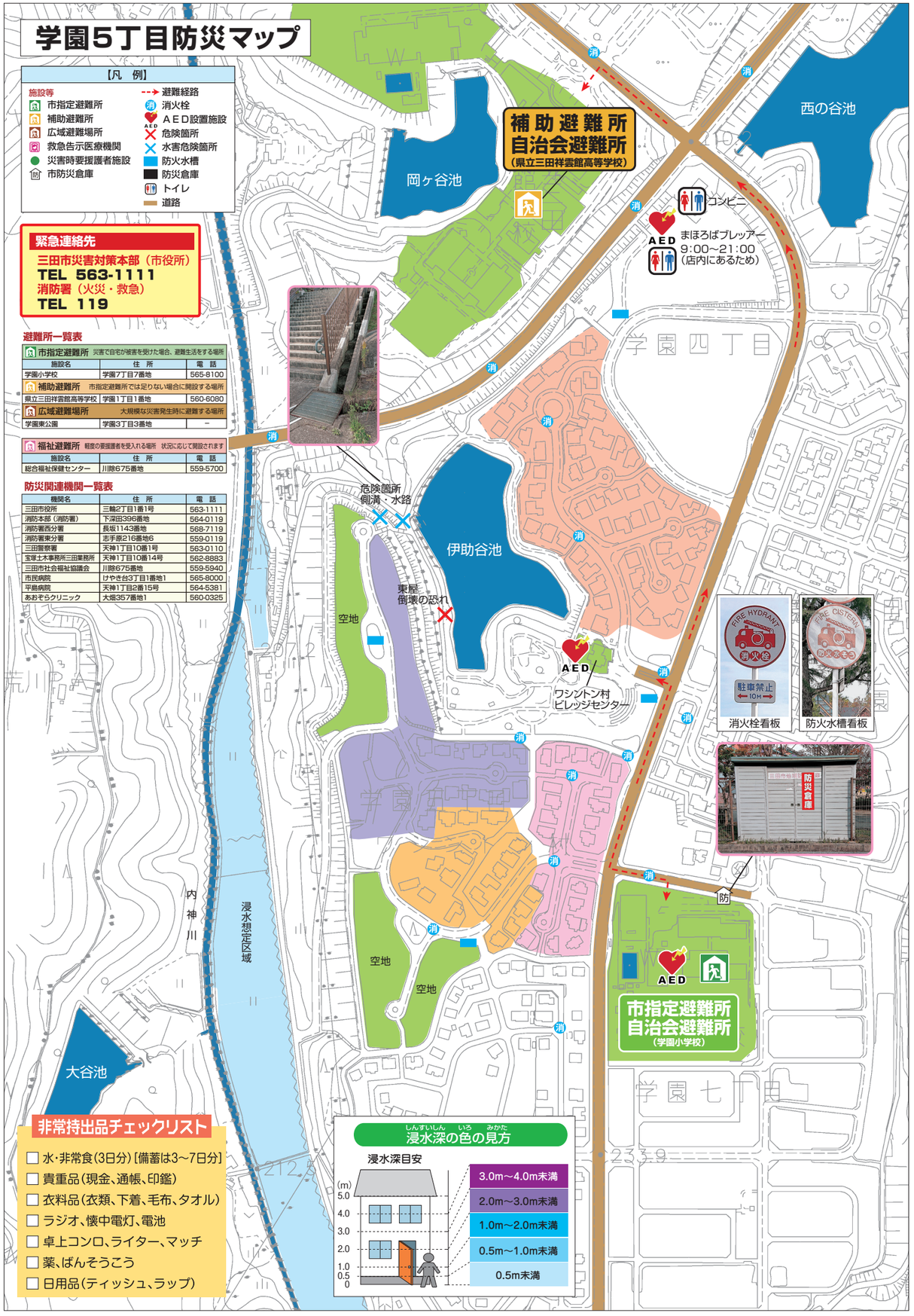
学園5丁目防災マップ



緊急連絡先

三田市災害対策本部（市役所）
TEL 563-1111
消防署（火災・救急）
TEL 119

避難所一覧表

市指定避難所　災害で自宅が被害を受けた場合、避難生活をする場所

施設名	住　所	電　話
学園小学校	学園7丁目7番地	565-8100

補助避難所　市指定避難所では足りない場合に開設する場所

施設名	住　所	電　話
県立三田祥雲館高等学校	学園1丁目1番地	560-6080

広域避難場所　大規模な災害発生時に避難する場所

施設名	住　所	電　話
学園東公園	学園3丁目3番地	－

福祉避難所　軽度の要援護者を受入れる場所　状況に応じて開設されます

施設名	住　所	電　話
総合福祉保健センター	川除675番地	559-5700

防災関連機関一覧表

機関名	住　所	電　話
三田市役所	三輪2丁目1番1号	563-1111
消防本部（消防署）	下深田396番地	564-0119
消防署西分署	長坂1143番地	568-7119
消防署東分署	志手原216番地6	559-0119
三田警察署	天神1丁目10番1号	563-0110
宝塚土木事務所三田業務所	天神1丁目10番14号	562-8883
三田市社会福祉協議会	川除675番地	559-5940
市民病院	けやき台3丁目1番地1	565-8000
平島病院	天神1丁目2番15号	564-5381
あおぞらクリニック	大畑357番地1	560-0325

非常持出品チェックリスト

- □ 水・非常食（3日分）［備蓄は3～7日分］
- □ 貴重品（現金、通帳、印鑑）
- □ 衣料品（衣類、下着、毛布、タオル）
- □ ラジオ、懐中電灯、電池
- □ 卓上コンロ、ライター、マッチ
- □ 薬、ばんそうこう
- □ 日用品（ティッシュ、ラップ）

◆わが家の安全点検をしましょう。

家具類の転倒・落下防止チェックリスト

- □ 寝室やリビングなど、長い時間居る場所に家具がある場合は、転倒防止対策をしている
- □ ポール式（つっぱり棒）を使用する場合は、ストッパー式や粘着マットを併用している
- □ ポール式（つっぱり棒）を使用する際、天井に強度がない場合は、当て板で補強している
- □ L型金具を使用する場合は、壁内の間柱など強度がある部分に固定している
- □ 家電製品は製品付属の取扱説明書に従い転倒防止を行っている
- □ 台上に置くテレビや電子レンジなどの家電製品を台に固定するとともに、テレビ台やレンジ台も固定している
- □ 家具類や冷蔵庫の上に落下しやすい物を置いていない
- □ 重い物を、できるだけ下に収納している
- □ 家具が転倒しても逃げ道を塞がない置き方をしている
- □ 窓ガラスの近くに大型の家電製品を置いていない
- □ ガラス扉のある家具には、収納物が飛び出さないよう、扉に開放防止器具をつけたり、ガラスが飛散しないようフィルムを貼っている

◆避難場所や家族との連絡方法を確認しましょう。

わが家の避難場所

避難場所1
避難場所2
離ればなれになった場合に集まる場所

家族・親戚・知人の連絡先

名　前	電　話	名　前	電　話

災害用伝言ダイヤル

大災害発生時は電話利用が殺到し、電話がつながりにくい状況になることがあります。
このような場合は、「災害時伝言ダイヤル」が開設され、被災地やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

伝言を登録する	伝言を聞く
【171】にダイヤル	【171】にダイヤル
【1】	【2】
（市外局番）●●●-■■■■	（市外局番）●●●-■■■■

※各携帯電話会社の災害伝言板もあります。

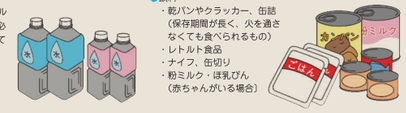
■非常持ち出し品（避難する時に持ち出すもの）

- ●メガネ、補聴器、入れ歯、普段飲んでいる薬
- ●ヘルメット・防災頭巾、運動靴、軍手
- ●懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、携帯充電器
- ●現金（小銭が重宝）、貴重品

■備蓄品（避難生活に備えて家などに蓄えておくもの）
３日分以上の備蓄は必要！

●飲料水
1人1日3リットル分の水は飲料用に必要であると言われています。

●飲料
・乾パンやクラッカー、缶詰（保存期間が長く、火を通さなくても食べられるもの）
・レトルト食品
・ナイフ、缶切り
・粉ミルク・ほ乳びん（赤ちゃんがいる場合）



◆避難情報の発信

三田市災害対策本部

今後の気象状況や現場からの意見等を受けて、三田市長が発令します。

発令

		どうしたらいいの？
避難準備・高齢者等避難開始	情報の収集や各自の持ち出し物の準備、避難場所の確認をするなど、避難の準備をしましょう。	お年寄り、体の不自由な方など、避難に時間を要する方は避難を開始（避難支援者は支援行動を開始）して下さい。
避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況です。指定された避難場所か屋内の安全な場所へ避難してください。	単独での避難は危険です。避難時には、隣近所で声を掛け合い、助け合って避難してください。避難時は、溝水路所や土砂災害に十分注意し行動してください。
避難指示（緊急）	ただちに指定された避難場所か屋内の安全な場所へ避難してください。	避難する余裕がない時は、生命を守る最低限の行動をとってください。

もし 災害が起こったら?!

①最寄りのビレッジセンター及び、最寄りのロータリー集合（隣保での安全確認）
②ビレッジセンター自治会班長もしくはそれに代わる人が集約情報交換
③市指定避難所　学園小学校

メモ